

面が描く、暖色の優。

秋色の世界

高島屋に縁ある作家の作品の中から、秋をテーマに鮮やかな色の世界を展示いたします。深まり行く秋の郷愁をお楽しみください。

田中以知庵 (1893-1958)

東京生まれ、1909(明治42)年、松本楓湖塾に入門。1912(大正元)年に咄哉(とつがい)の号を受ける。1935(昭和10)年、最初の個展を日本橋高島屋他で開催。1946(昭和21)年に雅号を以知庵とした。



「秋野の狐」田中以知庵 1950(昭和25)年頃

森川曾文 (1847-1902)

日本画家。京都生まれ。前川五嶺の門に学び、のち長谷川玉峰に師事する。京都府画学校教諭を務め、内国勸業博覧会・絵画共進会や海外の博覧会等で受賞する。四条派の正統を継ぎ、山水花鳥を得意とした。



「秋溪鴨図」森川曾文 年代不詳



「霧晴るる湖」奥田元宋 1987(昭和62)年

- 8月25日(月) ↓ 10月21日(火)
- 開館時間 午前10時 ~ 午後6時 (最終日は午後5時まで)
- 休館日 日・水曜日 ■ 入場無料 ■ 高島屋史料館

奥田元宋 (1912-2003)

1931(昭和6)年、遠戚の児玉希望に師事。1937(昭和12)年、号を元宋とする。1949(昭和24)年には第5回日展特選と白寿賞を受賞。1984(昭和59)年に文化勲章を受章し、1996(平成8)年には銀閣寺の庫裏、障壁画を完成させた。燃え立つような赤は「元宋の赤」といわれた。

●その他の出品作家 岡崎忠雄、沢宏靱、中村白玲、山岸純 ほか

高島屋史料館のご案内

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋
3-5-25 高島屋東別館 南側入口3階
電話(06)6632-9102
午前10時→午後6時(最終日は午後5時まで)
日・水曜日休館



高島屋史料館

Takashimaya

同時開催

線が魅せる、濃淡の妙。墨色の世界 南画家 河邊青蘭と泥谷文景